

## 庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第2次）改定への意見聴取（書面開催）

新型コロナウイルス感染症の市内感染状況を鑑み、書面による意見聴取を行ったもの

- 意見書提出期限：令和4年2月22日(火)
- 委員：御橋慶治、毛呂光一、板垣壮典、山木知也、白幡静夫、菅原勝、黒井晃、高橋健彦、田澤宏之、吉田直之、後藤洋一、小林時男、佐藤天哉、武田真理子、大久保紀子、五十嵐慶一、熊田洋勝、佐藤道子、工藤隆
- 内容：庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第2次）改定について

以下、委員意見の要旨

### ■庄内南部定住自立圏共生ビジョンに関する意見

#### 【医療分野】

- ・庄内病院の医師等の確保についての取組をしているが、庄内南部地域全体においての医師の高齢化、医師（開業医）不足に対しても同様に確保対策を充実させるべきと思う。
- ・がん検診受診率向上に向けた取り組みの拡大について、年々受診率は下がり、また精検受診率も上がらないという現実に対し、何らかの新しい方策を考える時期ではないかと思う。

#### 【福祉分野】

- ・一時保育施設について、受け入れ状況、料金等、その他についての情報提供が重要であるので、十分に情報等の整理、発信の充実を期待する。

#### 【地域内外の住民との交流・移住促進】

- ・コロナ禍で働き方にも変化が出てきて、田舎に定住する人も増えていると聞くことから、このような機会を上手く利用して圏域内の人口増に繋がるような企画を検討してほしい。

#### 【全般】

- ・定住のポイントは医療と教育の充実が大切だと感じる。デジタル田園都市構想への対応も進めていただきたい。
- ・事業実施も新型コロナウイルスの影響で中止や規模縮小等が出ているが、事業効果も表れているので、今後も見直しをやりながら事業推進していくべきと考える。